New Dynamic English

ニュー ダイナミック イングリッシュ 2

学習ガイド（初級／中級の下）

モジュール ***3***

www.dyned.com

目次

はじめに..... 3
コースの構成..... 4
学習ガイドの使い方..... 5
学習の秘訣..... 6
レッスンの進め方..... 7
音声認識のレッスンを始める前に..... 9
音声認識機能の使い方..... 10
一日の行動（Daily Activities）..... 12
地球と環境（Our World）..... 20
位置関係、場所の尋ね方（Locations）..... 24
復習（Review Exercises）Dictations..... 28
ビデオ会話（Video Interactions）..... 34
付録１：音声認識機能に関する注意事項..... 36
付録２：Verb Markers..... 39
付録３：練習問題の解答..... 41

はじめに

ダイナミックイングリッシュが、より充実して新たに登場！クラスで実証された教授法に基づき、経験を積んだ指導者によって開発されたコースウェアです。このコースは語学を習得するのに最も重要な「聞き取り」に重点を置き、マルチメディアの効果を最大限に活用しています。それぞれのモジュールには、ネイティブの声で録音された数多くの聞き取り練習、さらにディクテーションや穴埋め練習などの様々な形で聞き取りの学習に焦点を置いた練習問題が入っています。それぞれのレベルに適した語彙と話題が慎重に選ばれ、順序立てて構成され、自然で生きた会話を習得できる様に工夫がなされています。

DynEd 独自のインタラクティブなプログラムによって学習者は自分のペースで学習ができます。学習中いつでも繰り返し聞いたり、日本語訳（ニューダイナミックイングリッシュ４を除く）、英文、用語表を画面に表示することが可能です。また、このコースの大きな特徴は音声認識機能を使ったスピーキング練習です。この練習によって、流暢に話す能力が着実に身につきます。更に、録音・音声再生機能を使って、自分の発音とネイティブの発音を聞き比べることもできます。音声認識機能を使用する前にこのプログラムの動作環境をご参照の上、お持ちのコンピュータで音声認識機能が使用可能であることをご確認ください。

コースの構成

レベル

ダイナミックイングリッシュの新シリーズには４つのレベルがあり、それぞれ２つのモジュールで構成されています。ニューダイナミックイングリッシュ１は、初級者を対象としています。ニューダイナミックイングリッシュ２は初級／中級の下、ニューダイナミックイングリッシュ３は中級レベルに焦点が置かれています。ニューダイナミックイングリッシュ４は中級の上、及び上級者を対象としています。

レッスン

ニューダイナミックイングリッシュには、いくつかの異なるタイプのレッスンがあります。「メインレッスン」では、何人かの人物が登場し、それぞれの生活や活動について紹介します。また、季節や気候、環境など一般的な話題について話し合います。「メインレッスン」に続く他のレッスンでは、「メインレッスン」で導入された単語や文法の復習をします。モジュール１の「Question Practice」では、質問文を作成することで理解力をより確かなものとします。モジュール２の「Matrix Game」では「Vocabulary Practice」のレッスンで学んだ語彙を復習します。それぞれのモジュールで学習する「Focus Exercises」は、文法に焦点を当て、「Dictations」と「Fill-Ins」は、表現や文法の細部を確認することにねらいを置いています。これらのレッスンは他のレッスンを学習した後にすることをお勧めします。「Video Interactions」では、電話での応対の仕方など日常起こるいくつかの場面を設定し、状況に適した表現を学ぶと同時に、ビデオの中の人物と実際に会話をすることでスピーキング能力を向上させることができます。

学習ガイドの使い方

この学習ガイドには、登場人物や文型、あるいはその両方を集中的に学習する方法など、それぞれのレッスンの重要な学習事項が紹介されています。まず最初にレッスンを一通り学習し、次に各文毎に文法や語句を何度も繰り返し学習してください。一度にいろいろなことを学ぼうとするのではなく、焦点を定め繰り返し学習することが大切です。

ニューダイナミックイングリッシュは、学習の進度に応じて語彙、表現、文法などの難易度が自動的に変化するように設計されています。ですから、学習ガイドに提示された学習事項に沿って、レッスンの中のそれぞれの登場人物、文法、構文に焦点を絞り学習すると、より学習効果が上がります。

各インタラクティブセッションの復習として、学習した文を暗唱したり書いたりしてください。また、実際の日常生活の出来事などを英語で表現してみてください。最後に学習ガイドの練習問題に取り組み、巻末の解答と照らし合わせてください。

学習の秘訣

毎回 20〜45 分間のインタラクティブ学習をお勧めします。最も効果的な学習をするためには各レッスンを何回も、できれば違う日に繰り返し学習することが望ましいでしょう。各レッスンでの学習累積時間とレベルは、Student Records（ユーザーズガイド参照）で確認してください。各レッスンでのレベルが 2.5 以上に達するまで学習してから、次に進んでください。

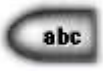
語学を学ぶことは、楽器を練習するようなものです。時間をかけて何度も練習、反復し、身につけなくてはなりません。各レッスンでより多くの時間を費やす程、多くのことを学ぶことができます。しかし、楽器の練習と同じ様に、効率良く時間を使わなくてはなりません。学習をする時は常にそのセッションの目標や目的を設定して行うと良いでしょう。そうすることによって、さらに集中した学習ができ、語学習得の長い道のりをより効果的に乗り越えることができます。

レッスンの進め方

（注）プログラムの始め方が分からない時は、ユーザーズ ガイドをご覧ください。
プログラムに慣れるために次の要領で最初のレッスンを学習してください。

1. 各文ごとに一時停止ボタンをクリックしてください。再生ボタンに変わり緑色の矢印が点滅します。
2. 再生ボタンが点滅している状態で繰り返しボタンをクリックしてください。同じ英文をもう一度聞くことができます。
3. 再生ボタンが点滅している状態で翻訳ボタンをクリックしてください。日本語訳を聞くことができます。
4. 再生ボタンが点滅している状態でテキスト表示ボタンをクリックしてください。英文テキストが表示されます。テキストの中のハイライトされた単語をクリックして用語表を参照してください。
5. 再生ボタンをクリックしてください。点滅がとまり、次の文に進みます。

（注）コースウェアに慣れるまでは、気がつかないうちにプログラムが止まった状態になっていることがあります。再生ボタンが点滅していると、プログラムは一時停止しています。プログラムを再開し先に進むには、点滅している再生ボタンをクリックしてください。質問されている時は、回答をクリックしてもプログラムを再開し、先に進むことができます。繰り返しボタン、翻訳ボタン、テキスト表示ボタンをクリックすると、プログラムは自動的に一時停止の状態になります。

	音声録音		**繰り返し**
	音声再生		**一時停止**
	**テキスト表示**		**再生**
	翻訳		**巻き戻し**
	終了		**早送り**

6. 前記のステップを各文でやってみてください。前の文に戻るには、巻き戻しボタンをクリックしてください。レッスンの最初に戻るには、一旦レッスンを終了させてください。
7. 理解力チェックの質問には時間制限があります。残り時間は、コントロールバーの右側に表示されます。回答に時間が必要なときは一時停止ボタンでプログラムを停止するか、繰り返しボタンを使って質問をもう一度聞いてください。
8. 初めの部分の文を何度か聞いた後に、今度は自分で言ってみましょう。巻き戻しボタンを使って最初まで戻ってください。
9. 録音ボタンを使って自分の声を録音してみてください。録音ボタンをクリックするとランプが緑色に変わります。録音が終わったら、音声再生ボタンを押して声を聞いてください。次に繰り返しボタンを押してネイティブの声と自分の声を比較してください。このステップはヒアリングとスピーキング練習に効果的です。文が長すぎて全部言えない時は、最初か最後の部分だけを言ってみてください。それでも難しくて言えない時は、状況をつかめるまで前後の文を何度も聞いてください。
10. それぞれのモジュールを終わらせるには数時間かかります。一度に全部学習するのではなく、２０～３０分毎に休憩をとることをお勧めします。
11. オプションメニューを使って用語表、学習記録、シャフラーレベルをチェックすることができます（詳しくは、ユーザーズガイドをご覧ください）。

音声認識のレッスンを始める前に

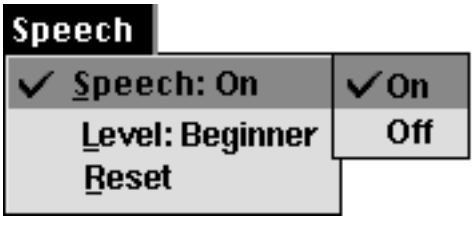
ニューダイナミックイングリッシュで使われている音声認識機能は、最新の画期的な機能です。音声認識機能を有効に使うことは、スピーキングの良い練習になります。

このコースでは、まずメインレッスンをマスターしてから次のレッスンに進んでください。リスニング力を充分養い、単語と構文を充分理解してから音声認識機能を使ったレッスンをすると、より効果的な学習ができます。

音声認識機能が使用できるレッスンは、「Question Practice」、「Fill-Ins」、「Speech Practice」、「Video Interactions」です。レッスンに関する詳細はこのガイドブックかコースウェアの中のヘルプメニューをご覧ください。音声認識に関する詳細は、「音声認識機能に関する注意事項」をご参照ください。

音声認識機能の使い方

上の図はスピーチメータです。音声認識機能が音声を聞き取っている間は、このスピーチメータが画面に表示されます。スピーチメータが表示されていない時は、音声を入力することはできません。



音声認識のスイッチを入れるときは音声認識メニューから on を選んでください。スイッチを切るときは off を選んでください。

音声認識停止ボタン：文を読み終わった時にここをクリックすると、音声認識機能が止まり結果がすぐ出ます。又、途中で間違いに気付いた時、ここをクリックするとスピーチメータが消えます。

スピーキングボタン：文を言い直す時はここをクリックしてください。スピーチメータが表示されます。

OK ボタン：音声認識後、認識された文とこのボタンが画面に表示されることがあります。文が読み上げた通りに表示されたら、ここをクリックしてください。文が読み上げた通りに表示されなかった場合、スピーキングボタンをクリックしてもう一度言ってみてください。

音声再生ボタン：音声が認識されている間は、音声の録音も同時になされています。自分の声を聞きたい時は、ここをクリックしてください。

音声認識機能をご使用になる場合は次のことを確認してください。

1. 音声認識メニューにある難易度を確認してください。「中級」又は「上級」を選択すると的確なスピードと、より正確な発音が要求されます。「初級」を選択した場合、音声認識機能は初級レベルの発音でも正しいと見なすように設定されます。
2. 文が正しいと認識されない場合、同じ言い方を続けないでアクセントの位置を変えたり、文の読み方をいろいろと変えてみてください。速すぎたり遅すぎたりせず、はっきり言ってみてください。時には、“She is going...”と言わず、“She’s going...”と短縮形で言ってみたり、逆に“Here’re”ではなく“Here are”と言う方が良い場合もあります。

(注) アクセントは特に大切です。例えば、fifteen は i にアクセントがある場合と e にアクセントがある場合があり、i にアクセントがあると fifty と間違えやすくなります。音声認識機能は単語の音のパターンを識別します。違う言葉でも同じ音のパターンの場合、その違いを識別できないこともあります。

3. 音声認識機能が動作しない時は次のことをチェックしてみてください。

    *スピーチメニューの on/off スイッチが off になっていませんか。

    *マイクロホンがこわれていませんか。

    *マイクロホンが正しく接続されていますか。

    *マイクロホンが口から離れ過ぎていませんか。

    *スピーチメータが表示される前に言い始めていませんか。

    *ボリュームが低過ぎませんか。

難易度の変更

音声認識メニューの「中級」又は「上級」を選択した場合、よりネイティブに近い発話が要求されます。なかなかうまく認識されない時は、「初級」を選択してみてください。

一日の行動（Daily Activities）

ここでは、職業、家族、一日の行動などを過去形、現在形、未来形を使って述べる表現を学習し、また、それぞれの時制の疑問文の作り方も学びます。文法面では、過去形、現在進行形、 予定などを述べる時の表現 be going to に焦点を当てます。

学習事項１

[Kathy’s Schedule] をクリックしてください。Kathy の朝の行動について述べている文を聞いて、声に出して言う練習をしてみましょう。

Today she got up at 9:15.
She didn't eat any breakfast.
She just had a cup of coffee.
Then she worked on her computer.

学習事項２

[Diane’s Schedule].をクリックしてください。Diane の朝の行動について述べている文を聞いて、声に出して言う練習をしてみましょう。

She got up at 6:30.
She cooked breakfast for her family.

Follow-up Practice

あなたの今朝の行動について話してみましょう。

例： *I got up at ____. I ate breakfast at ____. Then I ____.*

学習事項 ３

Kathy と Diane についてもう一度学習してみましょう。今（午後２時）二人がそれぞれ何をしているのかに注意し、文を声に出して言う練習をしてみましょう。

Kathy is eating a late lunch.
Diane is cleaning the house.

学習事項 ４

このレッスンをもう一度学習してみましょう。前に学習した時とは異なる文が出で来るので、注意して聞いてください。今日の午後と夜、Kathy と Diane が何をするつもりかに注意して、その文を声に出して言ってみましょう。

She's going to interview someone.
She’s going to pick up her kids.
She’s going to make a request.
After dinner, Diane is going to take a class.

Follow-up Practice

あなたが今日何をするつもりか話してみましょう。

例： *This afternoon/evening I’m going to ____.*
After that, I’m going to ____.

質問文の作成（Question Practice）

1. マウスを使って質問文を作る場合は、単語を正しい順番にクリックしてください。例えば、「who」「didn’t」「eat breakfast」「this morning」とクリックすると “Who didn’t eat breakfast this morning?”という質問文になります。考える時間が必要な時は、一時停止ボタンを使ってください。

2. スピーキングの練習をするには、語句を正しい順番に選び正しい文を言わなければなりません。スピーチメータが表示されたら、文をできるだけはっきり言ってください。考える時間が必要な時は、一時停止ボタンを使ってください。

3. 正しい質問文ができない時はもう一度やり直してください。数回しても正しいと認識されない時は、正しい文が表示され同時に読み上げられます。

文法（Focus Exercises）

このレッスンは文法に焦点を当て、文を作る練習をします。

1. ボックスの中の適当な語句を下線部に移動し、正しい文を完成してください。

2. ボックスの中の語句には必要ないものもあります。気を付けてください。

練習問題

A. （ ）の中の動詞の過去形を使って空欄を埋めましょう。

例： *This morning Kathy (get up)* ***got up*** *late.*

This morning Kathy (get up) _____ at 9:15.
She (have, not) _____ time for breakfast.
She just (have) _____ a cup of coffee.
Then she (work)_____ on her computer until 11:30.
At 11:45 she (leave) _____ home and (take) _____ a bus downtown.
She (go) _____ to her office.

B. a，b，c の中から同じ意味を持つ文を見つけ◯で囲みましょう。

1. She worked on her computer at home until 11:30.
   a. She stopped working at 11:30.
   b. She worked after 11:30.
   c. She started working at 11:30.

2. Their school is about twenty minutes away by car.
   a. It takes twenty minutes to drive to their school.
   b. Their school is twenty miles away.
   c. You can walk to their school in twenty minutes.

3. They left for school at 7:45.
    a. They left school at 7:45.
    b. They left the house at 7:45.
    c. They arrived at school at 7:45.

4. After taking her kids to school, she and a friend went shopping.
    a. After school, she went shopping with a friend.
    b. She went shopping, and then she took her kids to school.
    c. She took her kids to school, and then she went shopping.

C. 完全な文の形で質問に答えましょう。

1. What did Kathy do before she went downtown?

    _____

2. What time did Kathy stop working on her computer?

    _____

3. What time did Diane and her kids leave for school?

    _____

4. What did Diane do after she drove her kids to school?

    _____

D. 現在形または現在進行形を使って空欄を埋めましょう。

It's 2:00 and Kathy (eat) _____ lunch. She's hungry, so she

(have) _____ a large lunch. She often (have) _____

a large lunch because she (get up) _____ late and (have, not)

_____ time for breakfast.

E. be going to を使って空欄を埋めましょう。

1. At 3:00 Diane _____ pick up her kids.

2. This evening they _____ have dinner early.

3. They _____ eat dinner at 6:00.

4. After dinner she _____ take a class.

F. 次の答え（A）を読んで、質問（Q）を完成させましょう。

例：*Q. Who took a bus this morning?*
A. Kathy took a bus to work this morning.

1. Q. Who _____
   A. Kathy didn't drive a car this morning.

2. Q. Does _____
   A. Yes, she does. Kathy often takes a bus.

3. Q. Did _____.
   A. No, she didn't. Diane didn't take a bus this morning.

4. Q. Who _____
   A. Diane goes to a painting class twice a week.

5. Q. What _____
   A. This evening she's going to interview an important person.

G. 短縮形を使って質問に答えましょう。

例：*Q. Did Kathy take a bus to work this morning?*
A. Yes, she did.

1. Did Kathy and Diane both eat breakfast this morning?

   _____

2. Is Kathy going to go to an art class tonight?

   _____

3. Does Diane ever interview people?

   _____

地球と環境（Our World）

このレッスンでは、太陽系とその惑星、地球上の生命、エネルギー、環境など、私たちの住む地球についての話をする時に重要となる言葉を紹介します。生存に必要な条件、原因と結果、飽和と欠乏などの表現を学習し、惑星、エネルギー、公害などの基本的科学用語を学習しましょう。

学習事項１

「Our Planet, Earth」をクリックしてください。太陽系を見てみましょう。レッスンの最初の部分を学習し、声に出して言ってみましょう。テキスト表示ボタンを使って英文を表示させ、その中にあるハイライトされた単語をクリックして用語表を調べてみましょう。

Earth is the only planet where life exists.

It is the third planet from the sun.

Mercury is the closest planet to the sun.

The second closest planet to the sun is Venus.

学習事項２

「Air, Water, and Pollution」をクリックしてください。水や空気など、生存に必要な条件について学習します。なぜ水や空気が私たちにとって必要であるか注意して聞き、それらの文を声に出して言う練習をしてください。

Without water and air, there would be no life.

Without enough water, there aren't enough plants and trees.

We need water to grow our food

Follow-up Practice

食物、音楽、車、お金などがないと出来ないことを３つあげてください。また、なぜかを説明してください。

.

学習事項３

このレッスンをもう一度学習してみましょう。前に学習した時とは異なる文が出て来るので注意して聞いてください。太陽に関する文に注目し、声に出して言ってみましょう。現実に反する仮定や推論を表わす would の使い方に注意してください。

If we were closer to the sun, it would be too hot for us.

If we were farther from the sun, it would be too cold for us.

学習事項４

公害について学習します。公害はどんな問題を引き起こすのでしょう。公害の原因は何でしょう。こういった質問の答えとなる文を聞き、声に出して言う練習をしてみましょう。

Polluted air makes us sick.

It's bad for our health.

Automobiles are a major cause of air pollution

Follow-up Practice

あなたの住んでいる所、またはあなたの国の公害の原因を３つあげてください。

学習事項５

もう一度レッスンを見直してみましょう。さらに詳しく説明している文、または文の一部（関係節）に注意して聞いてください。ハイライトされた that や which をクリックして、用語表を調べてみましょう。that や which の例はいくつ出てきますか。

It is one of nine planets that travel around our sun.

The sun gives us the energy that we need.

Plants and trees produce the air that we breathe.

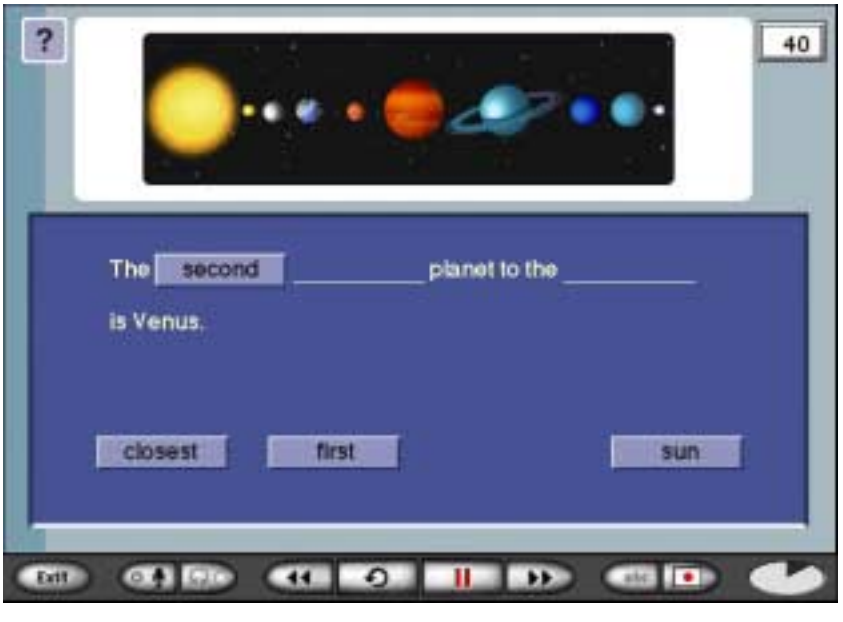
学習事項６

「Questions」をクリックしてください。質問を聞いて、答えをクリックしてください。そのあと、正しいネイティブの答えを聞き、自分でも言って録音してみましょう。自分の発音とネイティブの発音を聞き比べてください。

文法（Focus Exercises）

このレッスンは文法に焦点を当て、文を作る練習をします。

1. ボックスの中の適当な語句を下線部に移動し、正しい文を完成してください。
2. ボックスの中の語句には必要ないものもあります。気を付けてください。



練習問題

A. sun, earth, water, air のどれかを空欄に入れましょう。

1. Without the _____ the earth would be too cold for us.
2. We need _____ to breathe.
3. Without enough _____ we can't grow our food.
4. Without the sun there would be no life on _____.

B. 正しい単語を〇で囲みましょう。

例：*Automobiles（ cause ／ need ）pollution.*

1. Water (needs / makes) plants grow.
2. Plants (need / cause) water.
3. Pollution (causes / makes) people sick.s
4. Pollution (kills / makes) plants die.
5. Factories (need / cause) pollution.
6. (Animals / Automobiles) cause pollution.

C. 左の文と右の文を組み合わせましょう。

Match the part of the sentence on the left with the part on the right.

a. The earth is one of nine planets ____ that is closest to the sun.

b. The sun gives us the energy ____ that travel around the sun.

c. Earth is the only planet ____ that still exists on this planet.

d. Mercury is the planet ____ where life exists.

e. Human beings are one form of life ____ that we need.

位置関係、場所の尋ね方（Locations）

ここでは、位置関係、道順、場所に関する表現を学習します。街の中のある場所の所在地について説明したり質問したり、道順を尋ねたりします。

学習事項１

「City Locations」をクリックしてください。ダインエド市について学習します。それぞれの場所をクリックして、位置に関する説明を聞いてみましょう。department store や police station など場所の名前を声に出して言う練習をしてみましょう。自分の声を録音してネイティブと比較してみてください。

場所を表現する there is/there are の使い方に注意しましょう。 on High Street, on the corner, at the intersection of 等の前置詞の使い方にも注意してください。

The art museum is on High Street.

There is a cafe on the corner of High Street and First Avenue.

There is a gas station at the intersection of High Street and Second Avenue.

There are public restrooms in the park.

学習事項２

ダインエド市をもう一度学習します。通りや信号も含め各場所をクリックし、それぞれの位置関係を表わす文を聞いて、声に出して言ってみましょう。

The bank is next door to the hotel.

The gas station is next to a subway station.

The university is between First Avenue and Second Avenue.

There is a parking lot across the street from the travel agency.

学習事項３

「City Quiz」をクリックしてください。質問を聞き、正しい答えをクリックしてください。その場所で何ができるか述べている文を聞き、声に出して言う練習をしましょう。

Follow-up Practice

あなたの家、学校、会社のある場所を言ってみましょう。

例：*My house is across the street from a _____.*

My office is two blocks away from a _____.

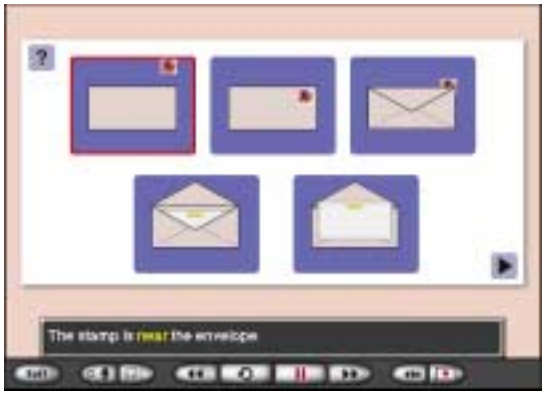
学習事項４

「Spatial Relations」をクリックしてください。図形を見てみましょう。それぞれのグラフィックスをクリックし、Under the ~、near the ~、on top of the ~などの位置を表わす表現に注意して文を聞いてください。。コントロールパネルから用語表を表示して、under や inside などの前置詞について学習してください。

The circle is to the left of the triangle.

The stamp is under the envelope.

The letter is on top of the envelope.



練習問題

A. 前置詞や前置詞句を使い空欄を埋めましょう。

across the street from *around the corner from*
between *next door to*

例：*The department store is* *around the corner from* *the hotel.*

1. The park is _____ the university.

2. The museum is _____ the cafe and the movie theatre.

3. The post office is _____ the hotel.

4. The art museum is directly _____ the hotel.

5. The bookstore is _____ the subway entrance.

B. 文を完成させましょう。

例：*You can buy medicine at* *a drugstore*.

1. You can buy clothing and furniture at a _____.

2. You can see a show at the _____ every night at 7:00.

3. You can make airline reservations at a _____.

4. You can cash a check at a _____.

5. Children can play in a _____.

復習（Review Exercises）Dictations

ディクテーション（Dictations）

このレッスンでは重要な単語や語句に焦点を当てて学習します。最初に、レッスンの中の文章が４つ読み上げられます。次に画面が変わり、画面上部に１５の語句が表示されます。画面下部には所々空欄がある文が表示され、読み上げられます。

次の順序に従ってディクテーションを進めてください：

1. 文頭の番号をクリックするか、繰り返しボタンを押して文をもう一度聞いてください。繰り返しボタンを使うと、プログラムは一時停止した状態になるので充分な時間をとることができます。

2. 文中の空欄に当てはまる単語を、画面上部にある単語の中から見つけクリックしてください。選ばれた単語が赤い枠で囲まれます。次にその単語の入る空欄をクリックしてください。空欄に選んだ単語が入ります。間違いに気が付いた時は、同じ要領で別の単語をクリックして単語を入れ替えてください。

3. 残りの空欄に単語を入れてください。どの順番で単語を入れてもかまいません。

4. 同じ要領で、２ー４も進めてください。

5. ４つの文が完成したら"SCORE" をクリックすると、各文が読み上げられ得点が表示されます。その際、赤で表示された語句は間違いです。

6. 得点が 65% 以下の場合にはもう一度やってみたいかどうか聞かれます。"Yes" をクリックするともう一度最初からディクテーションをすることができます。

7. 得点が 65% 以上の場合は、各文をもう一度聞いて、画面に表示された文を確認してください。赤で表示された単語は間違いです。正しい単語を入れ直してください。

8. 例えば、１番の文を修正したい時は、まず番号をクリックして文を聞き直してください。次に正しい答えをクリックし、訂正したい文中の単語をクリックします。正しい選択の時は単語が白に変わります。

9. 間違いを直したら、"END" をクリックしてください。同じディクテーションにもう一度挑戦するか、他のディクテーションに進むか聞かれます。また、ディクテーションを終わりにしてメインメニューに戻ることもできます。

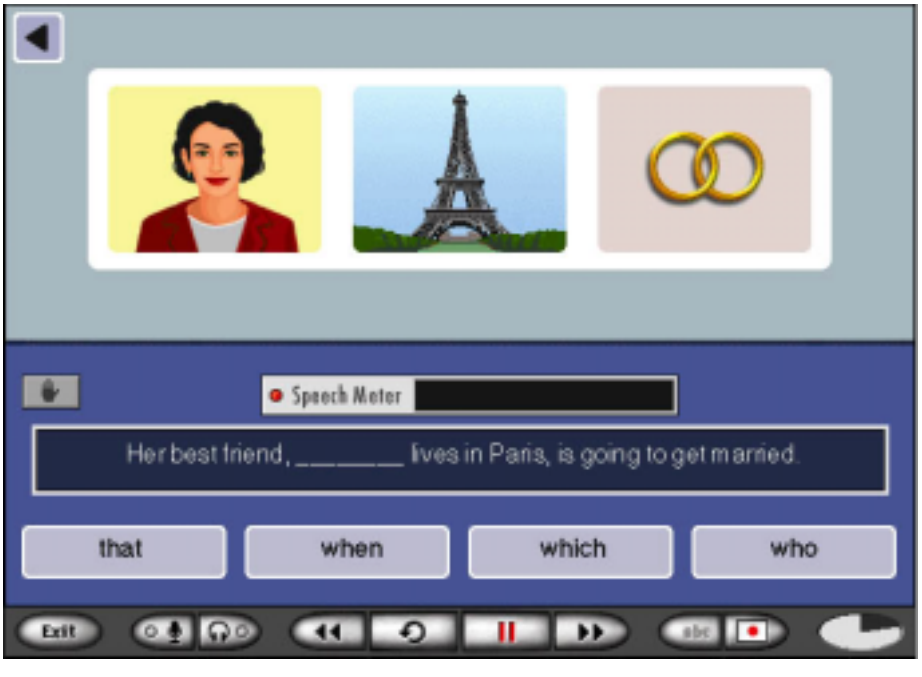
穴埋め練習（Fill-Ins）

1. 文を読んで、空欄に入る正しい答えを、表示された四つの単語から選んでください。その際、画面のグラフィックスを参考にしてください。
2. 答えをクリックするか、音声認識を使う場合は、答えを空欄に入れた形で文を読んでください。音声認識機能は、文を聞き取るように設定されていますので、選んだ単語だけを読むのでなく文全体を読んでください。

3. 文を読み上げると、その文が画面に表示されます。表示された文が読んだ文と同じ時は、「OK」をクリックしてください。表示された文が読んだ文と違う時は、スピーキングボタンをクリックし、スピーチメータが画面に表示されてからもう一度読み直してみてください。音声認識機能に関する詳細は、コースウェアのヘルプメニューの「音声認識」をご参照ください。

4. 自分の声とネイティブの声を比較する時は、音声再生ボタンを使ってください。発音を聞き比べることはとても大切です。

5. それぞれの穴埋め問題に答えると解答が表示され読み上げられます。黄色くハイライトされた答えをクリックするとその単語に関する説明が画面に表示されます。頑張ってください。



スピーキングの練習　（Speech Practice）

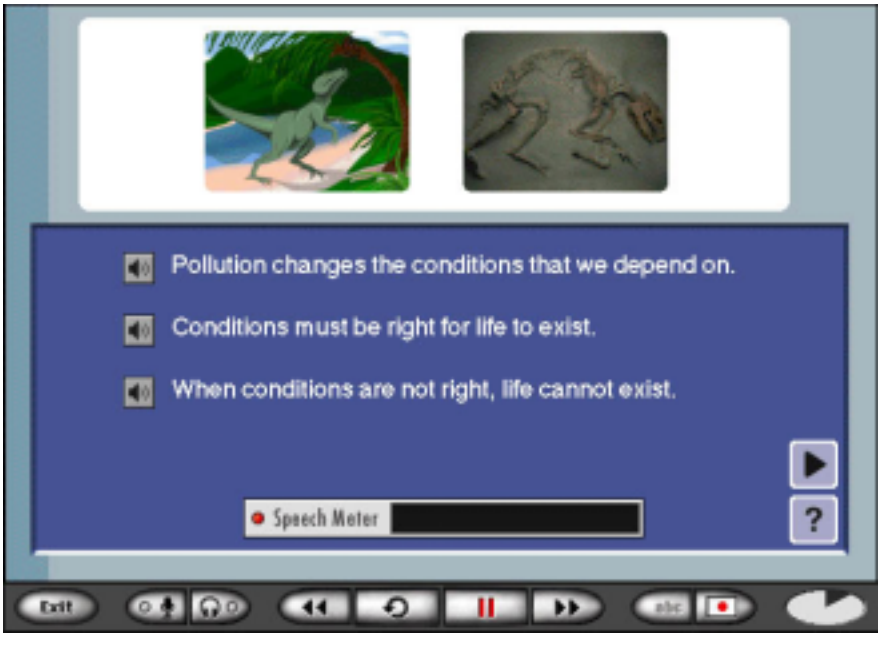
グループ　１：Sentence Reading

1. 画面に表示された文を一文ずつ読んでください。その際、どんな順序で読んでも構いません。

2. あなたが読み上げた文が認識された時は、その文がハイライトされもう一度読み上げられます。

3. 認識されない時は、もう一度やってみてください。文頭のスピーカボタンをクリックするとネイティブによる正しい発音、イントネーションを聞くことができます。

4. それぞれの文は、何度でも練習することができます。次の画面に進むには画面右下の矢印のボタンをクリックしてください。



グループ ２：Answering Questions

1. 質問をよく聞き、画面に表示されている文を読んでください。

2. 質問に対する正しい答えを選んでください。考える時間が必要な時は、一時停止ボタンを使ってください。再生ボタンをクリックすると、プログラムは再開されます。

3. スピーチメータが画面に表示されたら答えを読み上げてください。それぞれの文の前のボックスか文自体をクリックして答えることもできます。

4. 読み上げた文が正しい答えか否かにかかわらず、文が認識された時は文の前のボックスにチェックマークがつきます。

5. 正解の場合は、その文がハイライトされます。

グループ ３：Speech Quiz

1. グループ１ー２の中の問題が１５問アトランダムに出ます。

2. 得点は、画面の右上に表示されます。但し、グループ１の問題では同じ文を何回でも読むことが出来ますが、最初に認識された時にだけ得点が加算されます。

3. それぞれの問題は、他のグループの答え方と同じです。

ビデオ会話（Video Interactions）

このレッスンでは、あなたが学習してきた英語を、ネイティブの人々が実際にどのように使っているのかをビデオで紹介します。又、ネイティブの人々と英語で話すのがどういうものなのかを実際に体験することができます。ここでは、電話での応対の仕方やその他、日常生活の様々な場面で役立つ表現を学習します。

学習は次の要領で進めてください：

1. まず、それぞれのセクションの会話を一通り聞き、大体の内容を把握してください。その際、人物の表情や動作にも気を付けてください。

2. 会話文をもう一度、一文ずつ繰り返し聞いてください。また、テキスト表示ボタンを使って文をよく学習してください。ハイライトされた単語をクリックすると用語表が表示されます。単語の意味や例文などを読み、語彙の学習もしてください。ハイライトされていない語句でわからないものがあれば辞書を使ってください。

3. 今度は文を声に出して言ってみる練習です。最初は文を全部言おうとせず、短い句に区切って言ってみてください。

4. セクションにより「Interactive」の場面が含まれています。「Interactive」の場面では、あなたがビデオの中の人物になって会話をします。ビデオ・スクリーンの右側に文が表示されたら、その中から適当なものを選んでください。表示された文の中には、会話のその場面に適切なものが複数含まれていることがあり、その場合はどちらを選んでも正解です。スピーチメータが画面に表示されたら、できるだけはっきりと文を言ってみてください。音声認識を使わず、選んだ文をクリックして答えることもできます。音声認識に関する詳細は、ヘルプメニューをご参照ください。

5. 「Hot　Seats」をクリックしてください（このセクションが含まれていないディスクもあります）。「Hot　Seats」では、あなたがビデオの中の人物と会話をします。ビデオ・スクリーンの右側に質問文が表示されたら、聞きたい質問を選んでください。ビデオ・スクリーンの人物が答えてくれます。

付録１：音声認識機能に関する注意事項

指導者の方へ

ダイナミックイングリッシュで使われている音声認識機能は、最新の画期的な機能です。音声認識機能の性能を充分に理解し、この新しい技術を最大限に活用していただく為に、以下の点を念頭においてご指導ください。

1. 音声認識機能を有効に使うことは、スピーキングの良い練習になります。しかし、正確な発音を指導するという事に関しては、まだ技術的に限界があります。音声認識機能を使ったレッスンを繰り返し学習することで確かに発音は上達しますが、発音矯正の為のコースではありません。

2. 制限時間内に答えたり、マイクロホンの正しい使い方に慣れるのに時間がかかります。充分練習してください。

3. マイクロホンは適切な位置に置くようにしてください。近すぎたり遠すぎたりすると正しい結果が得られません。

4. 音声認識機能が正しく動作しない場合は、画面上部の音声認識メニューの中のリセットを使って音声認識機能を設定し直してください。また、一旦レッスンを終了し、メインメニューに戻ると音声認識機能は、自動的に設定し直されます。

5. 音声認識のレッスンを声質の違う学習者が交代で使うと音声認識機能が正しく動作しないことがあります。学習者が代わる時は、音声認識メニューのリセットで音声認識を設定し直すか、一旦レッスンを終了し、メインメニューに戻ってください。

指導にあたっての注意事項

音声が正しく認識されにくい時は、以下のことをご指導ください。

1. スピードを変えて読むようにしてください。

2. 例えば “he is going” を“he’s going” と短縮形で読んでみてください。また逆に、“where’re you from” を“where are you from”と一つ一つ読んでみてください。

3. 何回しても単語が正しいと認められない場合、アクセントを変えてみてください。 例えば、fifteen は i にアクセントがある場合と e にアクセントがある場合があり、i にアクセントがあると fifty と間違えやすくなります。

4. 難しい発音の仲間を見つけ出してください。例えば her と are は両方とも r の音で終わります。このような難しい単語は、ネイティブの発音をよく聞くようにしてください。

5. 画面上部にある音声認識メニューの「上級」が選択されている場合、音声認識機能は発音に対してかなり厳しくなり、選択されていない場合に比べると日本人の学習者では、正解率は 10ー15 パーセント低くなります。

6. 音声認識メニューの「上級」が選択され、ネイティブスピーカが妥当なスピードで鮮明に発音した場合、正解率は普通 85ー95 パーセントです。初級の学習者で音声認識メニューの「初級」が選択されている場合、最初正解率はだいたい 60ー80 パーセントですが、練習することによってかなり上達します。自信がついたら「中級」から「上級」へと進めてください。

7. 音声認識機能を使って学習しているときは、できるだけ録音された自分の声を聞くようにしてください。音声再生ボタンをクリックして自分の声を聞き、次に繰り返しボタンをクリックしてネイティブの発音と聞き比べるようにしてください。音声再生ボタンと繰り返しボタンは何度か使用しているうちに慣れてくるはずです。

学習者の方へ

このコースウェアは、音声認識機能を使って楽しく効果的にスピーキングの練習をすることができます。明確な発音と流暢な話し方を上達させると同時に、重要な文の構成をさらに学習し、語彙を増やします。最初にメインレッスンで録音機能を使って自分の声とネイティブの声を聴き比べる練習を充分してから、音声認識機能を使ったスピーキングの練習をしてください。音声認識機能は、正しいと認められるのにある程度の流暢さと速度を要求されるので、英会話の初歩の方には少し難しいかもしれません。

付録２：Verb Markers

ニューダイナミック イングリッシュの用語表には、次の様な５つの verb markers が表示されます。

1. **V (d)** lived, ate, came, was, had, went
2. **modal** will live, may eat, can go
3. **have+V(n)** has lived, has eaten, has been
4. **be+V(ing)** is living, is eating, is going
5. **be+V(n)** is eaten, is sold, is converted

上の表で V(d)は過去形、V(ing)は進行形、V(n)は過去分詞を表わします。下の表はその幾つかの例です。

V	V(d)	V(ing)	V(n)
be	was/were	being	been
work	worked	working	worked
speak	spoke	speaking	spoken
eat	ate	eating	eaten

verb marker は単独で使ったり、組み合わせて使い新しい動詞を作ったりします。例えば動詞 eat を marker 1 に当てはめると ate（He ate dinner）となり、marker 4 にあてはめると、is eating（He is eating dinner）になります。marker 1 と marker 4 を合わせると、was eating（He was eating dinner）となります。もし、５つのうちのどれにも合わせられないと、単純現在時制（He eats dinner every evening）という事になります 。

次は二つの verb marker を組み合わせて使った幾つかの例です。

1+2 V(d) modal	could go, might come, would sell
1+3 V(d) have+V(n)	had gone, had come, had sold
1+4 V(d) be+V(ing)	was going, was coming, were selling
1+5 V(d) be+V(n)	was made, was eaten, were sold
3+4 have+V(n)be+V(ing)	have been living, has been selling
3+5 have+V(n)be+V(n)	have been eaten, have been sold

verb marker を組み合わせて使う時は、小さい数の marker が大きい数の marker の前に位置します。例えば、動詞の sell を marker 3 と marker 5 と組み合わせた場合は、3+5 has been sold というように marker 3 は marker 5 の前に来ます。marker 5 が marker 3 の前に来て、5+3 be had sold となるのは誤りです。

verb marker についての説明は、各 verb marker の用語表の画面を参照してください。

付録３：練習問題の解答

一日の行動（Daily Activities）

練習問題 A

This morning Kathy got up at 9:15.

She didn't have time for breakfast.

She just had a cup of coffee.

Then she worked on her computer until 11:30.

At 11:45 she left home and took a bus downtown.

She went to her office.

練習問題 B

1. a
2. a
3. b
4. c

練習問題 C

1. She had a cup of coffee and worked on her computer.
2. She worked until 11:30.
3. They left for school at 7:45.
4. (After taking her kids to school,) Diane went shopping with a friend.

練習問題 D

It's two o'clock and Kathy is eating lunch.

She's hungry, so she's having a large lunch.

She often has a large lunch because she gets up late and doesn't have time for breakfast.

練習問題 E

1. is going to OR --'s going to
2. are going to OR --'re going to
3. are going to OR --'re going to
4. is going to OR --'s going to

練習問題 F

1. Who didn’t drive a car this morning?
2. Does Kathy ever take a bus?
3. Did Diane take a bus this morning?
4. Who has a painting class?
5. What is Kathy going to do this evening?

練習問題 G

1. No, they didn’t.
2. No, she isn’t.
3. No, she doesn’t.

地球と環境 (Our World)

練習問題 A

1. sun
2. air
3. water
4. earth

練習問題 B

1. makes
2. need
3. makes
4. makes
5. cause
6. Automobiles

練習問題 C

d, a, e, c, b

位置関係、場所の尋ね方 (Locations)

練習問題 A

1. across the street from
2. between
3. around the corner from
4. across the street from
5. around the corner from

練習問題 B

1. department store
2. movie theatre
3. travel agency
4. bank
5. playground

Copyright © 2003 DynEd International, Inc. All rights reserved.

QuickTime™とQuickTimeロゴは法的に使用許可を得た商標です。

Version 3.0 1/00